

2022年11月1日
七十七証券株式会社

「2022年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」にかかる 取組状況について（上半期分）

七十七証券株式会社（社長 志藤 敦）では、「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、「2022年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」（以下「計画」といいます。）を策定し、各種施策を検討・実施しております。

2022年度上半期における計画の取組状況について、下記のとおり取り纏めましたので、お知らせいたします。

記

1. 主な計画の内容

（1）お客さまにふさわしいサービスの提供

- A. 金融商品の販売にかかる成果指標（共通・自主的KPI）の策定・公表
- B. 多様化するお客さまニーズや取引経験、知識等を踏まえた金融商品サービスの提供
- C. お客さまへのフォローアップの充実
- D. オンラインサービスのセキュリティー強化
- E. 七十七銀行と連携したコンサルティングの展開

（2）お客さまに分かりやすい情報提供

- A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーの開催
- B. お客さまに、より分かりやすく情報提供を行うための営業員研修の実施および提供資料の充実化
- C. ホームページ等を活用した情報提供の充実化

（3）利益相反の適切な管理

- 利益相反管理の実効性にかかる分析・評価、および結果を踏まえた改善策の検討・実施

（4）社内体制の強化および啓蒙

- 各種研修会等を通じた、お客さま本位の取組みにかかる指導・啓蒙(研修カリキュラムの充実)の実施

2. 2022 年度上半期における主な計画の取組状況

(1) お客さまにふさわしいサービスの提供

主な取組内容（計画）	取組状況
<p>A. 金融商品の販売にかかる成果指標（共通・自主的K P I）の策定・公表</p>	<p>A. 共通K P I および自主的K P I（2022 年 3 月末時点）を策定し、2022 年 6 月に公表しております。</p> <p>また、別添資料に自主的K P I の取組状況(2022 年 9 月末時点)を記載しております。</p> <p>金融商品の販売にかかる成果指標の策定・公表につきましては、今後も継続してまいります。</p>
<p>B. 多様化するお客さまニーズや取引経験、知識等を踏まえた金融商品サービスの提供</p>	<p>B. 多様化するお客さまニーズや取引経験、知識等を踏まえた金融商品サービスの提供のため、以下の取組を実施しております。</p> <p>a. お客さまのニーズを踏まえ、投資信託や外国債券等の商品について適宜、商品ラインナップの見直し、拡充を図っております。</p> <p>b. お客さまへの商品のご提案にあたっては、事前に顧客属性等を確認し、お客さまにとって適切な商品のご提案に努めております。</p> <p>c. お客さまにより分かりやすい情報提供を行うため、営業担当者向けに、投資信託商品の研修会やマーケット研修会を定期的実施しております。</p>
<p>C. お客さまへのフォローアップの充実</p>	<p>C. お客さまが保有する商品の運用状況やマーケット動向等について、フォローアップを実施するとともに、相場急変時等におけるフォローアップについても徹底を図っております。</p>
<p>D. オンラインサービスのセキュリティ強化</p>	<p>D. インターネット取引における不正アクセス等の事象が複数発生していることを踏まえ、お客さまにより安心して当社サービスをご利用いただくため、オンラインサービスのセキュリティ強化を実施しております。</p>
<p>E. 七十七銀行と連携したコンサルティング営業の展開</p>	<p>E. 証券運用以外のお客さまニーズに、七十七銀行と適切に連携のうえ、お応えしてまいります。</p>

(2) お客さまに分かりやすい情報提供

主な取組内容 (計画)	取組状況
A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーの開催	A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況等を踏まえ、開催を見合わせております。今後につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、開催について検討してまいります。
B. お客さまに、より分かりやすく情報提供を行うための営業員研修の実施および提供資料の充実化	B. 日々の取引に対するモニタリングにより説明状況の確認、チェック、営業担当者への指導を行うとともに、研修を随時実施するなどして、営業担当者へ、お客さまにより分かりやすく情報提供を行う取組姿勢の醸成・意識付けを徹底しております。 また、投資信託および公募仕組債における同種商品の比較資料として、商品内容、リスクおよび費用等を記載した「重要情報シート」を導入し、お客さまへの分かりやすい説明・情報提供に取り組んでおります。
C. ホームページ等を活用した情報提供の充実化	C. お客さまへの情報提供にかかる取組みとして、当社ホームページの「市場レポート」欄において、証券会社および投信会社作成のマーケットレポート等の配信を行っております。今後につきましても、ホームページを活用し、情報提供を行ってまいります。

(3) 利益相反の適切な管理

主な取組内容 (計画)	取組状況
○ 利益相反管理の実効性にかかる分析・評価、および結果を踏まえた改善策の検討・実施	○ 新規業務や商品、サービス等の導入にあたっては、利益相反管理の要否を確認するとともに、商品販売状況等のモニタリングにおいて、利益相反管理が必要な商品等の取扱いがないこと、および利益相反管理の実効性にかかる問題はないことを確認しております。

(4) 社内体制の強化および啓蒙

主な取組内容 (計画)	取組状況
○ 各種研修会等を通じたお客さま本位の取組みにかかる指導・啓蒙（研修カリキュラムの充実）の実施	○ お客さま本位の業務運営全般にかかる社内全体の研修会や、コンプライアンスに重点を置いた倫理観向上のための研修会を開催するとともに、倫理コードや勧誘方針等を掲載したカードを全役職員が常時携行し、お客さま本位の取組みについて徹底しております。

以上

<ご参考>

七十七銀行グループは金融庁が 2017 年 3 月に策定・公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、本原則にもとづき「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を定めています。

「顧客本位の業務運営に関する原則」にもとづく 当社の取組方針	対応する原則の項目
1. お客さまにふさわしいサービスの提供	原則 6（注 1～注 5 を含みます。）
2. お客さまに分かりやすい情報提供	原則 4、5（注 1～注 5 を含みます。）
3. 利益相反の適切な管理	原則 3（注を含みます。）
4. 行内・社内の体制強化および啓蒙	原則 7（注を含みます。）
「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組 方針」全体	原則 2（注を含みます。）

出典：金融庁ウェブサイト (<https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210115-1/02.pdf>)

●投資信託販売上位銘柄の調査

お客様の多様な運用ニーズにお応えする投資信託商品を取り揃えるため、定期的に投資信託の販売上位銘柄の調査を行い、商品ラインアップの見直し、拡充に活用しています。

<2019年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	サイバ-セキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	779	14.2
2	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	内外株式	722	13.1
3	グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	687	12.5
4	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	内外バランス	453	8.2
5	netWIN GSテクノロジー-株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	374	6.8
6	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	202	3.7
7	日経225ノードオープン	国内株式	173	3.1
8	サイバ-セキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	内外株式	147	2.7
9	インテックスファンド225	国内株式	146	2.6
10	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(1年決算型)	内外バランス	130	2.4

<2020年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	netWIN GSテクノロジー-株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	1,293	12.4
2	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	1,292	12.4
3	サイバ-セキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	1,218	11.6
4	netWIN GSテクノロジー-株式ファンドAコース(為替ヘッジあり)	海外株式	1,027	9.8
5	東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(年1回決算)	内外REIT	755	7.2
6	グローバルAIファンド	内外株式	667	6.4
7	野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	海外株式	591	5.7
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	381	3.6
9	サイバ-セキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	内外株式	319	3.1
10	ひふみワールド+	海外株式	296	2.8

<2021年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	GS フューチャー・テクノロジー-リーダーズBコース(為替ヘッジなし)	内外株式	1,477	10.6
2	ひふみワールド+	海外株式	1,405	10.0
3	サイバ-セキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	1,161	8.3
4	世界インバ-外投資ファンド(資産成長型)	内外株式	1,068	7.6
5	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	975	7.0
6	米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)	海外株式	880	6.3
7	アライアンス・パートナーズ・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	海外株式	840	6.0
8	netWIN GSテクノロジー-株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	808	5.8
9	日経225ノードオープン	国内株式	683	4.9
10	GSグローバル環境リーダーズ(年2回決算コース)	内外株式	671	4.8

<2022年度上半期>

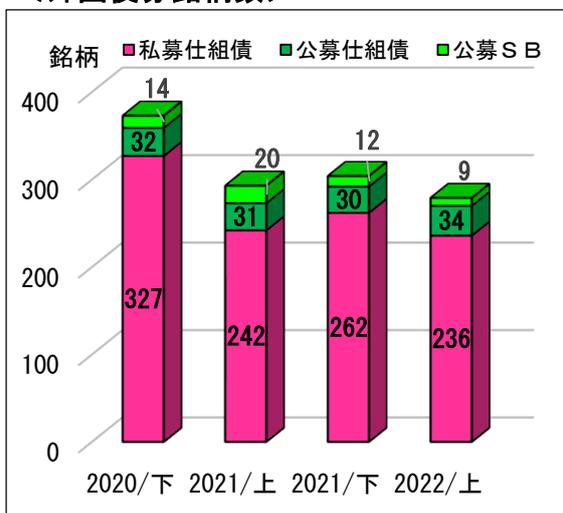
(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	555	18.7
2	フイデリティ・世界割安成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	内外株式	513	17.3
3	アライアンス・パートナーズ・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	海外株式	308	10.4
4	次世代REITオープン<資産成長型>(為替ヘッジなし)	内外REIT	244	8.2
5	日経225ノードオープン	国内株式	168	5.7
6	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	116	3.9
7	アライアンス・パートナーズ・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	海外株式	110	3.7
8	グローバルヘルスケア&バイオファンド	内外株式	105	3.5
9	フイデリティ・脱炭素日本株ファンド	国内株式	86	2.9
10	netWIN GSテクノロジー-株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	83	2.8

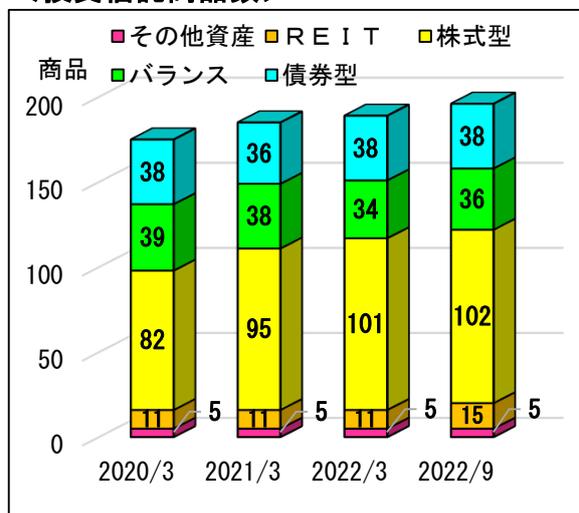
●多様化する顧客ニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直し、拡充

お客様の多様な運用ニーズにお応えするため、市場動向や販売状況の調査結果等を踏まえ、外国債券および投資信託の商品ラインアップ等を定期的に見直しとともに、商品の拡充を図っています。

<外国債券銘柄数>



<投資信託商品数>



<投資信託商品数内訳>

(単位：商品)

商品種類	2020/3			2021/3			2022/3			2022/9		
	商品数	うち銀行証券	うち証券のみ									
債券型	38	16	22	36	16	20	38	18	20	38	18	20
国内債券	5	1	4	3	1	2	5	3	2	5	3	2
内外債券	3	3	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0
海外債券	30	12	18	30	12	18	30	12	18	30	12	18
バランス型	39	23	16	38	23	15	34	23	11	36	25	11
国内バランス	3	2	1	3	2	1	2	2	0	2	2	0
内外バランス	24	18	6	23	18	5	23	18	5	25	20	5
海外バランス	12	3	9	12	3	9	9	3	6	9	3	6
株式型	82	19	63	95	27	68	101	26	75	102	28	74
国内株式	24	11	13	25	11	14	22	8	14	24	10	14
内外株式	29	4	25	34	8	26	44	10	34	46	10	36
海外株式	29	4	25	36	8	28	35	8	27	32	8	24
REIT	11	7	4	11	7	4	11	7	4	15	7	8
国内REIT	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
内外REIT	4	2	2	4	2	2	4	2	2	8	2	6
海外REIT	6	4	2	6	4	2	6	4	2	6	4	2
その他資産	5	4	1									
国内その他資産	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
海外その他資産	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0
合計	175	69	106	185	77	108	189	78	111	196	82	114

※ 「商品数」欄内訳の「うち銀行証券」は、当社取扱商品のうち七十七銀行においても取扱いのある商品、「うち証券のみ」は、七十七銀行で取扱いのない商品の数を記載しています。

●銀証連携の強化

・七十七銀行との銀証研修会の開催
 七十七銀行行員の金融商品販売スキル向上等を目的として、当社営業員を講師とした銀証研修会を開催し、お客さまのニーズに沿ったポートフォリオ提案や、分かり易い説明等、お客さまへの提案の「質」向上を図るための取組みを行っており、今後も、継続して実施してまいります。

・七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催
 七十七銀行と投資信託セミナーを共同開催し、当社・七十七銀行が取扱う投資信託商品の運用状況等を、お客さまにご報告する場を設けております。今後も、七十七銀行との連携による投資信託セミナーを定期的に開催し、お客さまに有益な情報の提供に努めてまいります。(2020年度以降につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、開催を見合わせております。)

項目		実績(開催店・参加者)
七十七銀行との銀証研修会の開催	2018年度	60ヵ店
	2019年度	56ヵ店
	2020年度	107ヵ店
	2021年度	27ヵ店
	2022年度上半期	43ヵ店
七十七銀行と連携した 資産運用セミナーの開催	2018/8	69名
	2019/2	145名
	2019/8	122名
	2020/2	101名

●顧客に分かりやすい情報提供

・資産運用、マーケット状況に関する情報提供に資するセミナーの開催
 お客さまに、資産運用、マーケット状況に関する情報を提供するため、セミナーを開催しております。今後も、同様のセミナーを開催し、お客さまへの情報提供に努めてまいります。(2020年度以降につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、開催を見合わせております。)

項目	実績(参加者)
開業1周年セミナー(2018/4)	143名
投資信託セミナー(2018/7)	54名
新春セミナー(2019/1)	110名
<七十七>会社説明会・投資セミナー(2019/9)	103名
マーケットセミナー「セブンサロン」(2019/6~2020/2)	9回/126名
七十七証券新春セミナー 兼 七十七銀行会社説明会 (2020/1)	110名
<七十七証券>マーケットセミナー(2020/2)	30名